

努力を続ける才能は誰にも負けたくない

学校長 岡崎 宏一

秋の音が聞こえる美しい季節が到来し、木々の葉も鮮やかに色づいてきました。

さて、臨時休業日を経て10月を迎えました。今年度の家庭学習では、タブレット端末を使用し、新しい形態で学習を進めてきました。学習の定着で不安を抱えている生徒もいると思いますが、定着を図るために授業の中で復習を行い、計画的に進めていきます。また、理解できなかったところについては、担当教師が丁寧に学習内容を進めていきます。

運動面では、10月24日から新人大会が実施されます。今年度は、コロナ禍により1競技1大会（県・中央・市）の実施となりますが、先輩達が培ってきた伝統を引き継ぎ、佐野中生生として「あいさつ・礼儀・マナー」を大切に、佐野の風を吹かせ、最後まで忍耐力をもって戦ってくれることを期待しています。

最後に【有名選手の活躍にたって】

今年、長友選手がF C東京に帰ってきました。彼は、身長が約170cm、体重65kg、プロ選手の中では、決して大きくない選手です。その長友選手は、いったいどのようにして世界のトップレベルの選手になれたのでしょうか。それは、平坦な道ではありませんでした。試合に出られないことから、ストレスからやる気を失ってしまい、遊んでばかりの日々が続いたそうです。

そんな長友選手を救ってくれた人たちがいます。それは、家族や大学の仲間です。遊んでばかりいた長友選手を叱咤激励（しったげきれい）したことにより、彼は立ち直り、Jリーグでプロデビューを果たしました。そして、その後はイタリア、トルコと世界中で素晴らしい活躍をしてきました。

その長友選手が次のように言っています。「僕にはサッカーの才能はないが、努力を続ける才能は誰にも負けたくない」という言葉です。この言葉から、彼は壁を乗り越えるために、そして壁を乗り越えた後も、毎日毎日すごい努力を積み重ねて、今の素晴らしい活躍につながっていることがわかります。

生徒のみなさんも「努力」という言葉を使うと思います。努力が実ってよい結果が出たこともあるでしょう。努力したけれども、よい結果につながらなかったこともあるでしょう。時には、途中で努力をやめてしまって後悔したこともあるでしょう。

人間は、うまくいくときもそうでないときもあります。しかし、長友選手のような超一流選手であっても日々努力を続けているのです。みなさんも目標に向かって「努力」を続けていってください。みなさんの「努力をする才能」がいろいろな場面で花開くことを期待しています。

学校2学期制 後期スタート

今年度は従来の3学期制ではなく、試行として前期・後期の2学期制で学校生活を送っております。

前期終了は10月8日(金)、後期開始は10月11日(月)でした。今年度の成果を検証し、次年度より完全実施となる予定です。



秋色、銀杏の絨毯

緊急事態宣言を超えて

夏休み後半から9月末までの約1ヶ月間、首都圏を中心にコロナウイルス感染者が爆発的に増え、第5波と呼ばれる中、県も独自の非常事態宣言を発出されました。9月1日から通常授業ができず、やむなく分散登校を強いられました。幸いにも「一人1台のタブレット端末」を自宅に持ち帰っていたため、「オンラインでの学習」や、ホームルーム（朝の会）、授業、課題の配付などを行いました。まだまだ満足いく使い方ではありませんが、今後ますます授業にタブレットが活用され、個別最適でより深い学びから、確実な学力を獲得するためのツールとなるように期待されています。

ひたちなか市新人戦の代替大会として

9月22日から予定されていた、ひたちなか市新人戦が緊急事態宣言下で中止となり、10月28日(木)～29日(金)の2日間(中央・県は別日程)に、代替の大会が計画されています。今回は、ほとんどの競技で上位大会が実施されず、市内大会で終了となりますが、来年度以降の大会へのステップとなるはずです。



給食委員会公認キャラクター
“キャベッチ”

キャベッチファーム (給食委員会)

給食委員の活動の一つとして、JA常陸の生産者、砂川彰さん監修のもと、キャベッチファームでは青々とした新芽が元気に出始めました。



砂川さんの指導の様子 (7月19日)



にんじん、キャベツ、ブロッコリー
(10月5日)



【交通安全のお願い】

秋も深まり、下校時間帯が**かなり暗く**なりました。自転車通学の生徒は、**ライトの点灯確認**(各自の自転車点検)を、また徒歩通学者は**懐中電灯**を準備すると、足元を照らすことができ、安全な下校が確保できます。ご検討ください。